

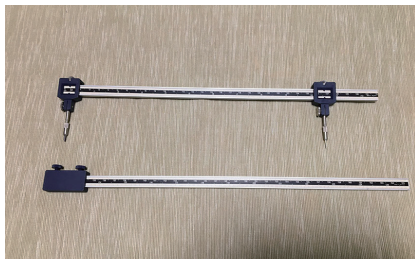
モノを探ってみた

この年末に引き出しや、押し入れの奥底に押しやられているモノたちを探してみた。図面やパースを PC で作成するようになって使わなくなってしまったモノ。使わなくなって 10 年以上たっているモノもあるけど、断捨離出来ないモノたち。徹夜して仕上げた仕事等、思い出話は尽きない。



■ UCHIDA の製図器

これはデザイン学校に入学した時に購入したモノ。図面を PC で書くようになるまでずっと使っていたはずですが、まだまだ綺麗な状態。ドローイングシャープだけはもうない。



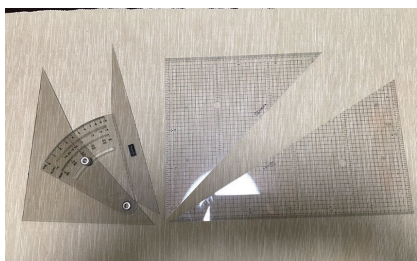
■ 大型コンパス

連結すれば半径 650mm の円まで書けた。椅子から立ち上がって使っていた記憶が。



■ 字消し盤

図面の修正の際、これを当てながら少しずつ消しゴムで消していく作業は自分との戦いだった。



■ 勺配定規 & 三角定規

T 定規や平行定規を使って図面を書いていた頃の必需品。ドラフターになってからは使う頻度も少なくなっていた。



■ ユニカーブ

5本のなかでもなぜか使用頻度が高かったのが黄色と水色で、一番使わなかったのがオレンジ。



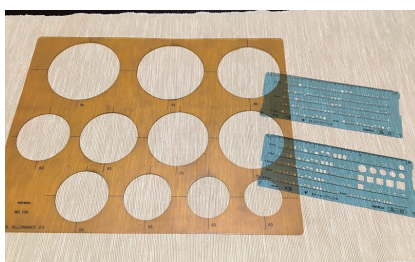
■ 木製雲型定規

私の物ではないけれど、初めて木製のを見た。赤いシミは付いているものの、反りも無い。



■ 自在曲線定規

個人的にはあまり使わず、ユニカーブでつないで書いていた。



■ テンプレート

Φ40~90 のテンプレートだけ残っていた。小型のは使用頻度が高かった分破損が激しく廃棄。数字とアルファベットはテンプレートで。そのうち指示文をワープロで打ってひとつずつ糊で貼り込むように。



■ 20m コンベックス & レーザーコンベックス
 現調の際には持って行ってた 20m コンベックス。今では持って行くのは 5m のコンベックスとレーザーコンベックスに。



■ TOSHIBA Rupo

図面に貼り込んだりする文字打ちをしたワープロ。デジタル移行への第一歩(?)。キーボードには旧仮名表記もある。



■ 製本のいろいろ

企画書やファイリングするのに使っていたけど、今ではパワーポイントや記憶媒体への保存になっている。

物置にはきつと携帯用 A2 平行定規や T 定規もあるはず。
もう処分してしまった PM パッド、コピック、アイロテック、エアブラシ、透明フィルム etc.

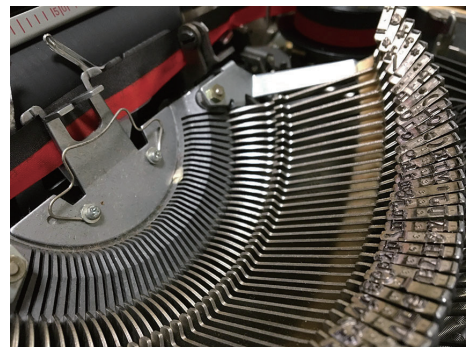
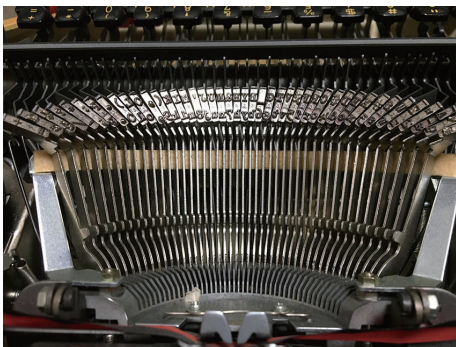
昔はいろんな道具を使ってトレーシングペーパーに書いていた。
今ではいろんなアプリケーションを使って画面に書いている。
シャープペンやロットリングは、マウスやペンタブレットに。
青焼き図面はレーザーやインクジェットのプリントとなり、図面集は CD-ROM となった。
便利になって仕事は楽になったかという、そうでもない。
メリット、デメリットは何にでもある。そんな思い出話を仕事仲間としていたら、こんなの出てきたと・・・



■ KOKUYO の電子ソロバン
1971 年 11 月発売 (ネット検索しました)
今でも動くらしいですが、誰も使い方が解らない。
× と ÷ が同じ Key、- と =、+ と = が同じ Key ???
検索しても解りませんでした。



■ BROTHER タイプライター
実はタイプライターを使ったことがなく、今回初めて
触らせていただきました。
深く押す Key、最後にチン！と鳴る感覚は子供の頃のレジのおもちゃ。
とはいえ、中の構造も動きも美しく、今でも滑らかに動きます。
上下 2 色に分かれたインクリボンが勿体なくて印字していなかった
のですが、いまでも互換性のある物が販売されていました。



電子ソロバンもタイプライターも発売当時は画期的なモノだったのでしょう。
このどちらも私は知らないけど、インターネットという新しいモノのおかげで調べるのが簡単になった。
でも、ネット検索という古いモノに移行しつつあるのだと思う。
これからも画期的な新しいモノはどんどん生み出され、そして古いモノが生まれる。
いろんな意味で悩ましい・・・